

二つの川尻中学校

—学校生活を見つめ直すきっかけに—

- 1 学 年 第8学年〔後期〕
 2 主題名 愛校心〔4－（7）〕
 3 ねらい 「明音」の学校に対する思いの変化を考えることを通して、学校を愛する気持ちに気づき、その一員としてよりよい学校づくりに意欲的に取り組もうとする実践意欲を育てる。
 4 資料名 「二つの川尻中学校」
 5 展 開

| | 学習活動と主な発問 | 生徒の反応 | 指導上の留意点 |
|--------|---|--|--|
| 導 入 | 1 クイズに答える。 ○ 呉市内の学校クイズに挑戦しましょう。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ (クイズの内容に関して) 知らなかったなあ。 ・ 私たちの学校はどんな歴史を持っているんだろう。 | ※ クイズ例は次のページの6(3)「指導過程の工夫」を参照 ○ 自分の学校の歴史や出来事を探してクイズにし、資料への興味付けを行う。 |
| 展 開 | 2 資料「二つの川尻中学校」を読んで話し合う。 ≪資料①配付≫ ○ 「明音」は、どのような中学校生活を送ってきたのでしょうか。 ≪資料②配付≫ ◎ 両親の会話を聞いた「明音」は新校舎をどのような気持ちで見つめていたのでしょうか。 3 自分の中の愛校心について考える。 ○ 自分の学校の好きなところ、自慢できるところやこれから大切にしていきたいことを挙げてみましょう。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ きれいな校舎を掃除する意味はあるのだろうか。 ・ 学校に対してあまり愛着や誇りを持っていない。 ・ 壊されている旧校舎には、先輩たちの思い出がたくさん詰まっていたんだなあ。 ・ 自分も両親のようにたくさんの思い出を作っていきたい。 ・ 新校舎を大切に使いしていきたい。 ・ ボランティア活動が盛んだ。 ・ 部活動がさかんで大会で優勝した。 ・ 気持ちの良い返事やあいさつができる。 ・ 「ソーラン節」が受け継がれている。 | ○ 明音の心情の変容を明確にしていくために、資料は分割提示をする。 ○ 両親の話を書く前の「明音」の新校舎への思いについても考えさせたい。 ○ 発表後に、「明音」が学校や学校生活を大切にしようとする気持ちが深まっていることに気付かせる。 ○ 場合によっては、「校舎がなくなることで愛校心はうまれるのか」等の発問を加えることにより、愛校心について考えを深めさせる。 ○ 学校の自慢や伝統等、よりよい校風を自分たちが築いていこうとする意欲につなげたい。 ○ 好きなところがあまり出なかった場合は、これから作っていききたいことをまとめさせてもよい。 |
| 終 末 | 4 ゲストティーチャーの話聞く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ よりよい学校をつくるために自分にできることに取り組みたい。 | ○ 体育祭や部活等での忘れられない体験談を語ることで卒業生をゲストティーチャーとして招きたい。 |

6 授業の概要

(1) 主題について

本主題は、内容項目〔4－(7)〕「学級や学校の一員としての自覚をもち、教師や学校の人々に敬愛の念を深め、協力してよりよい校風を樹立する。」をもとに設定した。本資料では身近な学校の校舎の解体工事を通して、改めて自らの学校に対する思いを振り返る主人公の気持ちについて考えることを通して、愛校心を育て、学校をよりよくしていこうとする実践意欲を高めたい。

(2) 自作資料活用のポイント

ア 活用時期

創立記念日や体育大会、文化祭、卒業式などの学校行事や生徒会活動等を一通り経験し、学校のよさ等に気付きやすい。中学校生活の折り返しに差し掛かる第8学年の時期に取り扱うのもよい。

イ 資料の分割提示

資料①を使って、両親の会話を聞く前の「明音」がどんな中学校生活を送っているのか、新校舎に対しどんな思いを持っているのかをじっくり考えさせた上で、資料②を配付し、「明音」の新校舎への心情の変化を考えさせたい。

(3) 指導過程の工夫

ア クイズを取り入れた導入の工夫（例）

平成17年に上山田小と吾妻小が一つの学校になって明立小学校になりました。その由来は何でしょうか。→公募で、吾妻小の校歌の「明るく強く伸び行こう」と上山田小の校歌の「立てよ進めよもろともに」からそれぞれ「明」と「立」ととった。

イ 発問のつながり

中心発問に対する生徒の発表後に、「明音」の愛校心が深まっていることに気付かせた後に、「校舎がなくなることで愛校心はうまれるのか」等の発問を加えることで、愛校心について深く考えさせる方法もある。

ウ 終末の工夫

終末では、体験談をふまえて母校の思い出を語ることで卒業生をゲストティーチャーとして活用する。また、その後「心のノート」(p.117～p.119)を使用し、心に留まったことを書かせておくとよい。

エ それぞれの学校のネタを発掘

学校での歴史や、逸話、保護者の世代のニュースなどからさまざまな話題を集めてみるとよい。その際に、卒業生に話を聞いたり、卒業アルバムや記念誌、PTA新聞等を活用したりするとよい。その学校を卒業した教員を探して話を聞くのもよい。

(4) 参考資料

川尻中学校ホームページ

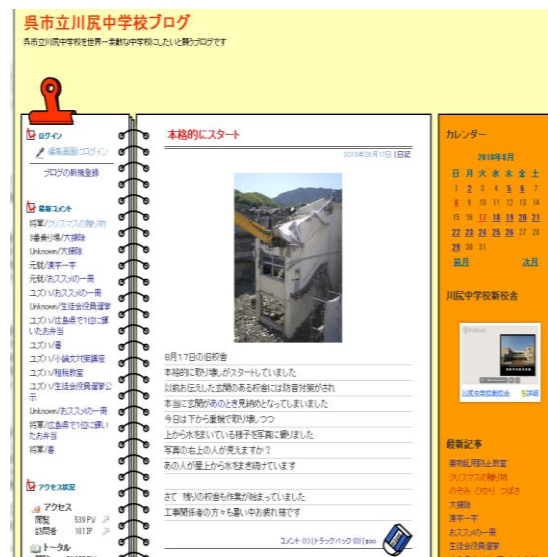
<http://www.kure-city.jp/~kawac/>

※新校舎のライドショーあり

川尻中学校ブログ

<http://blog.goo.ne.jp/kawachuu>

※旧校舎解体工事に関する記事あり



(川尻中学校 河野靖弘)